



東洋公衆衛生学院 同窓会 会報

〒151-0071 東京都渋谷区本町6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局,
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail yama@toyo-college.jp

発行日 2016.8.10

第3号

3号の内容

- 1 平成27年度役員会報告
- 2 同窓会総会
- 3 学院からの報告
- 4 国家試験への道のり
- 5 諸連絡

1. 平成27年度役員会報告

新役員体制から1年が経過しました。

平成27年度は平成27年7月、10月、平成28年2月に役員会を開催しました。

主な議題として「総会の案内方法について」の話し合いが行われ、27年度と同窓会総会までは葉書による案内とすることで意見が一致し、次年度よりホームページによる案内に切り替えることになりました。このため、27年度の会計報告の中には印刷費の名目で333,720円の支出を計上してありましたが、この予算をホームページ作成費として使用させて頂きました。多くの会員の皆様に同窓会を利用していただけるよう内容を充実させていく予定です。また、会報第2号の「諸連絡」の中にも盛り込みましたが、同窓会会員の皆様には、ぜひとも同窓会会員登録をお願い致します。

次に今回28年度予算案に管理費として450,000円を計上しました。現在会員数は5,000人を超えています。そして今後も卒業生の数が増加していく中で、個人情報の管理が難しくなる傾向にあります。現在、学院のホームページを借用しているため、独自で運営するために計上しております。情報管理に万全を期すため予算は大きくなりましたが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

2番目の議題として「東洋公衆衛生学院50周年記念式典の支援について」提案がありました。平成28年11月19日(土曜日)に学院が式典を開催する計画があり、同窓会からの支援について検討しました。50周年は節目の年ですし、同窓会も学院からは多大なご協力を頂いていますので支援をすることに満場一致しました。支援金の金額については意見も多数出ましたが、28年度予算案の中に今年度限り、50周年式典準備金として500,000円を計上することにしました。

3番目の議題として「奨学金基金の運用について」は奨学金の使い道等について継続的な話し合いがなされています。

2. 同窓会総会

平成28年4月2日(土)午後4時から、山口事務局長からの開会の挨拶により開始されました。続いて小野寺会長からは、「今年度より新しい執行部で活動を始めました。軌道に乗るまでに3年くらいの時間がかかると思いますがよろしくお願ひします」と挨拶がありました。その後、議長に五十畑氏、書記に青柳氏が任命され総会が始まりました。



冒頭で挨拶をする小野寺会長

総会議事の経過報告として事務局からは、会員登録の業務、会報・ホームページ・Facebookを介して会員への情報発信について報告されました。学術・渉外から学院祭における学生支援講演会の実施について報告されました。27年度の会計報告では、総会に先立って行われた会計監査で平成27年度の事業報告書等が不完全なため、次年度3月までに確認することを条件として監査報告を認めるとすると監事の片山氏・池内氏から報告がありました。さらに事業計画案の作成することを指示されました。

第1号議案の平成28年度事業方針(案)では、(1)東洋公衆学院50周年記念式典について(2)奨学基金の運用について(3)同窓会会員登録、個人情報の管理等について提案され承認されました。

第2号議案の平成28年度予算(案)が提案され承認されました。

その他の提案議題では「学校にて卒業生の教育も企画してはどうか？同窓生の中には講師として適正な人材が多いのではないかと意見が出され、理事会で検討することになりました。

議事録署名人に国仲氏が選出され、閉会となりました。



● 同窓会懇親会

同窓会総会が終了後、午後5時30分から初台駅前のオペラシティの53階北海道で懇親会が始まりました。総会に出席出来なかった方の参加もあり35名ほど集まりました。毎回参加している同窓生もいれば、初めて参加する同窓生もいて大いに盛り上がっていました。

小野寺会長が、参加された若い世代の同窓生に向けて、「君たちの周りにいる同窓生を引き込んでくれるとありがたい」と語っていたのが印象に残っています。

次年度に行われる同窓会総会・懇親会には何人が参加してくれるか楽しみです。

3. 学院からの報告

●平成27年度卒業式

平成28年3月2日(水)、新宿明治安田生命ホールで臨床検査技術学科第48期生37人、診療放射線技術学科第34期生60人の卒業式が行われました。卒業証書は学院長の登坂先生より1人1人授与されていました。



●平成28年度入学式

平成28年4月6日(水)、新宿明治安田生命ホールで入学式が行われ、臨床検査技術学科第51期生46人、診療放射線技術学科第37期生78人の新入生を迎えました。

4. 国家試験への道のり

●臨床検査技術学科

12月に各科目の卒業試験を終えた3年生は、1月6日の校内模擬試験を皮切りに2月24日(水)の国家試験をめざし、ラストスパートに突入。1月以降に行われた模擬試験は12回(年間総数19回)で最終的なクラス平均は161.1点(200満点)まで上り詰めました。

第62回臨床検査技師国家試験は大正大学巣鴨校舎で開催され、本校の受験生39人(既卒2人含む)は同じ教室で受験しました。午前中は見慣れない問題に戸惑い、昼休みに落ち込む学生がいたようですが、午後は例年並みの出題に自信を取り戻し、力を発揮したようです。翌日の自己採点で登校した学生はにこやかな様子だったそうです。

そして3月29日(火)第62回臨床検査技師国家試験の合格発表では、37人全員が合格し6年連続の100%合格となりました。また、10年越しの合格を勝ち得た卒業生もいて、悲願達成に本人はもちろんのこと教員も喜びに浸りました。ちなみに全国受験者4,400人、合格者3,363人、合格率76.4%(新卒のみは87.4%)でした。

7月に入るまで就活を続けていましたが、卒業生全員の就職が決まりました。

先輩方、今後とも後輩のご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



● 診療放射線技術学科

1月に3年生にとって最も重要な卒業試験が行われました。卒業試験の難易度は国家試験よりも若干高めに設定しています。年々画像の出題が増加し難易度も上昇している国家試験ですが、6日間で14科目というハードスケジュールの卒業試験を突破した60名が第68回国家試験に挑みました。今年は2月25日、大正大学巣鴨校舎で行われました。前日は緊張から、あまり眠れなかった学生もいたようですが、全員が滞りなく受験しました。学生の試験直後の感想は「難しかった」と感じる学生が多かったようですが、翌日の自己採点では皆、得点が高く、3年間の努力が反映されました。近年、採用側の不合格リスクを減らすため国家試験の終了を待って求人募集を出す施設も少なくなく、自己採点后、合格を確信した学生たちは本格的な就職活動に乗り出していました。

そして3月29日(火)第68回診療放射線技師国家試験の合格発表があり、残念ながら3名の不合格者がいましたが、57名が合格し、合格率は95.0%でした。ちなみに全国受験者3,016人、合格者2,377人、合格率78.8%(新卒のみは90.9%)でした。

全国合格率も高く、就職合戦の激化が予想されましたが、合格した学生全員の就職先が決定し、今後、診療放射線技師としての活躍を望むところです。

5. 諸連絡

- 平成28年度第2回役員会は10月中旬に開催予定です。ホームページ、Facebookでもお知らせいたします。役員以外の方も傍聴することができます。
- Webによる同窓会会員登録をお願いいたします。東洋公衆衛生学院のホームページのトップ画面右下の同窓会のバナーをクリックして同窓会会員登録(修正)により入力してください。
- 9月3日(土)医学検査学会終了後に同窓会の交流会を予定しています。

東洋公衆衛生学院 同窓会

〒151-0071

東京都渋谷区本町6-21-7



電話 03(3376)8511

FAX 03(3376)4345

Email: yama@toyo-college.jp

東洋公衆衛生学院ホームページ
はQRコードをご利用下さい

